



秋田県理学療法士会ニュース

第187号 2019年3月15日発行



AKITA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



2019

3 - 4
Mar. Apr.

vol.187

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会
会長：菅原 慶勇 編集：加賀屋勇氣 印刷：(株)秋田情報プリント
事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org
ホームページ <http://www.ptakita.org>

第3回中央ブロック講習会

電気刺激療法の活用 ～最大限の効果を得るために～

我孫子先生の電気刺激入門。物理療法が嫌いな人にごそ聞いて欲しい！

2月2日(土)に第3回中央ブロック講習会に参加して参りました。「電気刺激療法の活用」をテーマに、伊藤超短波株式会社の我孫子幸子先生が講師としていらっしゃいました。我孫子先生は、理学療法士として、同社の学術部に所属し、物理療法の認知度向上のために国内外で幅広く活動されている方です。この講習会で感じたことを、会員の皆様にお伝えしたいと思います。

個人的な考えですが、物理療法はセラピストの好き嫌いが分かれる分野だと思っています。私自身、学生の頃、物理療法があまり好きにはなれませんでした。物療は単なる対症療法で、その場限りの疼痛緩和という印象を持っていたからです。もしかしたらそんな考えをお持ちの先生は少なくないかもしれません。

我孫子先生のお話は、そんな当時の自分に聞かせたくなる内容でした。先生が強調されたのは、「単に漠然と電気刺激を行うだけではいけない」ということだったと思います。電気刺激により麻痺への促通をしながら、どう自動運動を引き出すかという実臨床の場面を、動画で示しながらご指導くださったのですが、電気刺激が主役ではなく、我々の治療介入をサポートする役割だという印象を強く受けました。少し言い方を変えると、電気を流せばいいのではなく、電気をかけながら、その刺激をどう活用するかが、重要で、そこに理学療法士が物理療法を扱う意義を強く感じました。

実は物療嫌いだった私ですが、今では骨格筋電気刺激を研究テーマのひとつにしています。それは上司の指導のたまものですが、その話はひとまず置いておきまして(笑)電気刺激を研究していく中で、気づいたことはまさに、物理療法は、運動療法の効果を飛躍させる可能性を持っているということです。運動療法とうまくコーディネートすることで、より楽

に、より大きな効果を得ることができる、その可能性を追求していくことが大切だと考えるようになりました。我孫子先生のお話を聞いて、その想いを強くしました。

電気刺激を始めとした物理療法には、まだまだ我々の介入効果を高める可能性が隠れていると思います。ただそのためには物理療法の原理をよく理解し、真の意味で使いこなすことが必要だと我孫子先生の講義を通して思いました。私はまだまだ電気刺激の原理や、生体に及ぼす反応の機序を学ぶ必要があります。要勉強です。

物理療法に悩んでいる方、より深く知りたいという方。我孫子先生は各病院にも足を運んで直接物理療法についてのご講演や実演もしていただけます。ぜひ伊藤超短波にお問い合わせください。

文責：加賀屋勇氣



我孫子先生(写真右)と
畠山副会長(写真左)

運動器とスポーツ・パラスポーツ合同研修会

パラスポーツ入門・参加者の声

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科
須田 智寛

「パラスポーツ入門」と題し、平成31年2月16日に専門領域研究会の運動器とスポーツ・パラスポーツ合同研修会が開催されました。札幌医療リハビリ専門学校から来秋した伊藤真之助先生は車いすカーリングにトレーナーとして国内外に帯同し、パラスポーツの現場で非常に精力的に活動しておられる先生であり、そのような熱い先生の熱い研修会に参加してきたので報告いたします。

研修会の内容は大きく分けて4つであり、①昨今のパラスポーツの現状、②伊藤先生がパラスポーツに介入したきっかけ、③最近の活動報告、④臨床でのPT業務とパラスポーツ現場の違いでした。①では身体障がい、知的障がい、精神障がいのそれぞれにスポーツの種目があることを知りました。またパラリンピックスポーツ競技では夏季競技は22種目、冬季競技は6種目と非常に少ないことを知りました。我々が考えるパラスポーツにおける理学療法士の活躍とパラスポーツ分野における現場ニーズには差異があることに驚きました。

専門領域研究班 活動報告



第4回 神経理学療法研究会 開催報告 「病期別リスク管理のポイント」

2018年1月19日、「病期別リスク管理のポイント」をテーマとし第4回神経理学療法研究会を開催しました。（会場：秋田大学医学部保健学科、参加者数：27名）

急性期、回復期、生活期のそれぞれの病期について、県内の第一線で活躍する理学療法士を講師に招き、臨床で遭遇する問題や対応のポイントについて、具体例を交えながら非常にわかりやすく講義が行われました。講義後のディスカッションでは、リスク管理について臨床で気になっている点、難渋している点等について参加者及び講師陣の間で積極的な議論が交わされました。「自分ならこうするが他の人ならどうするか？」等、普段から気になっている点、あるいは何気なく行っている点について、異なる視点からの意見をj得ることができ、今後の臨床に繋がる有意義な会になったと思います。

神経理学療法研究会では31年度もこれまで同様、調査活動および講習会（県内各地で開催）を継続して行う予定です。研究会の参加をきっかけに、普段自分が行っている臨床を振り返るきっかけになればよいかと思います。皆様の御参加をお待ちしています！！



<担当して頂いた講師の皆様>

急性期：伊藤雄平 氏（秋田厚生医療センター）

回復期：古山るり子 氏（秋田県立リハビリテーション 精神医療センター）

生活期：桜庭勇人 氏（中通リハビリテーション病院）

特に遠征時には排泄や入浴などの生活面におけるニーズは必要であり、求められているところだと感じました。②では伊藤先生がひょんなことから出会ったのがきっかけであることを知り、人とのつながりは何があるかわからないから重要なものであると改めて感じました。③では車いすカーリング世界選手権大会や平昌パラリンピックの活動を中心に動画や写真で紹介していただき、非常に興味が沸き立つ活動でした。④ではいかにつなぎ役になれるか大切であると教えていただきました。モチベーションが上がらない選手を例にどのように対応していくのかを考えることができました。そのなかで「聴く」ことが大切であり、特にパラスポーツ競技ではそのスポーツが生きがいとなっていることが非常に多く、そのスポーツを通してどうその人の人生に活かしていくのが大事

であると伊藤先生はおっしゃっており、胸に響くものがありました。

「パラスポーツ入門」ということで、入門的な話が多く、2年目の私でも非常にわかりやすく終始心を躍らせられた研修会でした。最後に伊藤先生をはじめ、このような研修会を計画して下さった運動器研究会、スポーツ・パラスポーツ研究会の皆様へ心より感謝いたします。ぜひ次回も心躍る研修会の開催を期待しております。

第24回 秋田県理学療法士学会

2019年6月22日（土）開催！

「ソーシャル・キャピタルの醸成を目指して」
（豊かな社会関係資本）
～地域の力を高めるために理学療法士ができること～

【会 期】

平成31年6月22日（土） 9:00～16:00（受付：8:30～）

【会 場】

秋田大学大学院医学系研究科 医学系研究棟 総6講義室（4階）



学 会 長 : 大田 健太郎
 (大湯リハビリ温泉病院 写真左)
学会準備委員長 : 渡部 涼太
 (大湯リハビリ温泉病院 写真右)

※敬称略

皆様、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

！ 新人プログラムを受講された方は要確認 新プロ研修の終了手続きはお済ですか？

新人教育プログラム研修の終了手続きを行う時期となりました。現在新人教育プログラムを受講されている方は、下記記載方法で忘れず手続きを行ってください。

マイページでの自身の履修状況の確認のしかたについて、説明します。

IDとパスワードで、日本理学療法士協会のマイページにログインしていただき、トップ画面の左、メニュー欄に「生涯学習管理」があります。その生涯学習管理内に、「履修状況確認」がありますので、そちらをクリックします。



「履修状況確認」をクリックしますと、履修状況確認の選択画面へ移ります。

「履修状況」の箇所を、自身が確認したい履修状況を選択し、「次へ」のボタンをクリックします。

「次へ」を押すと、自分の履修状況が表示されます。右の画面は、新人教育プログラムの履修状況確認です。

テーマごとに、修了要件があり、各テーマの履修単位数を満たして、合計15単位が修了の要件となります。また、「履修状況」の項目で、「未」は未履修、「済」は履修済を表します。15単位を満たすと、この画面上に「修了申請」のボタンが表示されますので、そこから修了の手続きをおこないます。

履修状況	単位数	修了要件	履修状況	修了
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15
新人教育プログラム	1	4/15	済	2019/01/15

修了の手続き後に、必ず、専門分野の登録も忘れずにおこなってください。

Q- 専門分野登録はどうしたらいいですか？

A- 専門分野の登録はいくつでも選択可能です。興味のある分野のみを選ぶもよし、全般的に登録するもよし、ご自由にお選びください。ただ、認定・専門理学療法士の取得を考えている方は、その分野の登録は必須になりますので、確実に登録しましょう。

第20回

おえだの職場を知ってけれ！

いつも転院申し送りしているけど、知っているようで知らないあの病院、あの施設・・・どんな理学療法士がどんなことしているの？そんな疑問に答えるべく、自分たちの病院・施設を紹介していくコーナーです！



大館市立総合病院



紹介者：柏木智一さん



①私たちが働く病院は…

当院は昭和41年に設立され、県北地域の中核病院として、地域医療を担っています。昨年は病院機能評価認定病院（3rdG:Ver1.1）を更新しました。病床数は443床です。

②リハビリ対象疾患は…

運動器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、がん、廃用、小児などさまざまです。

③理学療法士の人数は…

PT12名、OT7名、ST2名です。

④私たちの病院のここが“ウリ”です！

土曜・祝日もリハビリを提供しています。専門理学療法士1名、認定理学療法士3名存在し、昨年からはチーム制を設け、より専門性に特化した理学療法を提供しています。

訪問看護ステーション幸



紹介者：原田熙さん

①私たちが働く施設は…

秋田県秋田市中通に位置しております。住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるよう、看護師やリハビリの専門職が生活の場を訪問し、療養生活を支援しております。

②リハビリ対象疾患は…

内科疾患、神経・筋疾患、脳血管疾患、整形外科疾患

③理学療法士の人数は…

PT:1名 OT:2名 Nrs:6名 事務員:1名

④私たちの施設のここが“ウリ”です！

秋田市中心部に位置しておりますので、近郊であれば迅速に訪問することができます。また、セラピストの配置数が多い訪問看護ステーションです。

- 表彰報告 -

様々な分野でその功績が認められ、受賞された先生方を紹介します。今回は2018年度（第7回）日本呼吸ケア・リハビリテーション学会奨励賞を受賞された市立秋田総合病院の岩倉正浩氏です。受賞を受けて、喜びの声を頂きました。

2018年度（第7回）日本呼吸ケア・リハビリテーション学会奨励賞

岩倉 正浩 氏



一緒に奨励賞を受賞した千葉大学医学部附属病院の稲垣武先生（写真右）と

昨年11月、千葉の幕張メッセにて開催された第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会で2018年度（第7回）日本呼吸ケア・リハビリテーション学会奨励賞を受賞致しました。

このような賞を頂いたのは、普段からご指導いただいております、秋田大学名誉教授の塩谷隆信先生や市立秋田総合病院の高橋仁美先生をはじめとするリハビリテーション科スタッフの皆様、研究に参加していただいた対象者の皆様、支えてくれている家族のおかげであると思っております。

今後も社会に還元でき、少しでも住みやすい社会の実現に貢献できるような研究が行えるよう、邁進していきたいと思っております。

岩倉 正浩

部 長 だ よ り

委 員 会

●表彰者選考委員会

平成30年度協会賞受賞候補者について、三役に答申しました。

●災害医療派遣検討委員会

・スタッフ派遣予定

【秋田県災害医療コーディネート研修会】

期 日：2019年3月3日

会 場：秋田県庁第二庁舎

派遣者：鈴木 和也氏（大曲中通病院）

会長のうごき

1 月

1月8日(火) 秋田県庁長寿社会課訪問（秋田市）
 1月10日(木) 介護予防事業講師（秋田市）
 1月12日(土) 秋田県医療関係団体新年会参加（秋田市）
 1月13日(日) 第2回鹿角市いきいき健康づくりフォーラム講師（鹿角市）
 1月16日(水) 介護予防事業講師（秋田市）
 1月20日(日) 平成30年度第2回トレーナー派遣委員会参加（秋田市）
 1月22日(火) ダイハツ工業国内営業本部CSR室の方々と懇談（秋田市）
 1月25日(金) 秋田県理学療法士会新年会参加（秋田市）
 1月27日(日) 協会指定管理者中央研修会(地域包括ケア病棟)参加（東京）
 1月29日(火) 湯上市障害者総合支援法に関する審査会参加（湯上市）

1月30日(水) 理学療法特化型デイサービス事業所見学（秋田市）

1月30日(水) エフエム秋田「MI X」ゲスト出演（秋田市）

2 月

2月9日(土) 指定管理者研修会(初級)講師（秋田市）
 2月9日(土) 三役会議（秋田市）
 2月10日(日) 秋田市在宅医療介護連携セミナー参加（秋田市）
 2月13日(水) 理学療法特化型デイサービス事業所見学（秋田市）
 2月13日(水) 第6回理事会参加（秋田市）
 2月14日(木) 介護予防事業講師（秋田市）
 2月16日(土) 運動器/スポーツ・パラスポーツ研究会 合同研修会参加（秋田市）
 2月21日(木) 県スポーツアスリート診断講師（秋田市）



秋田リハビリテーション学院の伊藤昭先生からバトンを受け取った、同じく秋田リハビリテーション学院の富田浩輝と申します。

皆様が繋いできたマイブームのバトンは、これが最後となるようです。皆様の多方面にわたるマイブームを紹介するこのコーナーは、毎回新たな発見をいただけるのでとても楽しみだったのですが、これで最後と思うと寂しい限りです。そんなマイブームの最後を飾るのが私のような若輩者で、大変恐縮ではありますが、最後までお読みいただければ幸いです。

それでは、私のマイブームについてご紹介させていただきます。私のマイブームは某テレビ局の番組「チョコちゃんに叱られる」です(笑)。

この番組は、「好奇心旺盛でなんでも知っている5歳」という設定の着ぐるみの少女・チョコちゃんが、大人の解答者たちに、素朴かつ当たり前過ぎてかえって答えられない疑問を投げかける。そして、解答者が答えられないと、チョコちゃんの顔がCGによって突然真っ赤になり巨大化し、「ボーッと生きてんじゃねーよ!」の決め台詞と共に叱られ、その後専門家に取材をしたVTRを流して、答えを掘り下げるといった構成で進められる番組です(※番組内では、諸説ある中の1つを紹介しているので、必ずしも正解ではないとのこと)。

番組内で紹介されたチョコちゃんの疑問の1つに、食事の後に言う、「ご馳走様」って何?という質問があったのですが、皆さんはご存知でしょうか?

正解は…



「韋駄天様!」だそうです。これだけでは何が何だか分かりませんので、簡単に説明いたします。

ご馳走様の「馳走」という言葉は、中国から来た言葉で、「馳=早く」、「走=走る」という意味があるそうです。韋駄天とは、元々古代インドの宗教、バラモン教の神様で、お釈迦様が仏教の守護神として迎えた1人だそうです。この韋駄天は、足が早く、食卓の神様としても慕われていたことから、江戸時代には、「おもてなしの食べ物」=「馳走」と表現するようになったそうです。やがては、感謝の気持ちを込めて、食後に「ご馳走様」と言うようになった。つまり、「ご馳走様」=「韋駄天様」への感謝が結論のようです。

いかがでしたでしょうか?このような素朴な疑問を、おもしろ可笑しく編集し、紹介しているのがこの番組です。興味が湧いた方は、是非ご覧ください。

最近では、テレビや読書を通じて、日常のふとした瞬間に、仕事以外の知識や歴史に触れ、新たに自分の興味を広げていく事も、楽しい過ごし方の1つだと感じています。意外とリラックスできて個人的にはオススメです。皆様も、少しの時間だけでもリラックスして、いろいろな興味関心を広げていく時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか?

末筆ながら皆様のご健康をお祈りするとともに、マイブームを終了させていただきます。最後までお読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。



現在放送中の大河ドラマ「韋駄天」に因んで、以前の同僚とフルマラソン完走後に撮った写真(本人は写真左)

ニュース編集班より

ニュース編集班班長の加賀屋です。雪解けの季節となって参りました。今年度最後のニュースです。長年続いたマイブームを終わらせるのは忍びない想いもありましたが、次号から皆様に親しんでいただける新しいコンテンツを用意して参りますので宜しくお願いします。

次回ニュースの原稿締め切りは4月20日(土)です。載せたいニュース、写真などありましたら、ニュース編集班までお寄せください。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器脳脊髄センター 機能訓練部 加賀屋勇氣

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

秋田リハビリテーション学院

平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科
4年課程
40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-ac.jp/arc/>

●応援します！医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●社会医療機器 ●理化学器具 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●顕微鏡医療機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ツ屋字水木田33
〒010-0964 秋田市八橋駅沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123(代)
FAX 0187-66-2139
☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 佐藤俊介

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2
Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546
本荘営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大進向2-4
Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313
能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番
Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

生体現象測定装置・FES（機能的電気刺激）
リハビリテーション機器 販売

有限会社 バイオテック

代表取締役 飯塚清美

〒010-0041 秋田市広面字碓80-1
TEL 018-837-0161
FAX 018-837-0162

高度管理医療機器販売業 第04-000026号

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621
秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5
TEL / FAX 018-882-2116

TEIJIN

患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霧が関3丁目2番1号
PAO(KK)INAC(TB)1201

(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

厚生労働省指定工場

社団法人日本義肢協会登録・東北101号

(株)千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木 雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126